

I 経済の活性化

1 産業構造の改革

1 意欲ある企業・起業家への重点支援と 県内消費の拡大

主担当部局(長)名
産業・雇用振興部長 中川 裕介



クラウドファンディングを活用して
新事業にチャレンジする県内企業

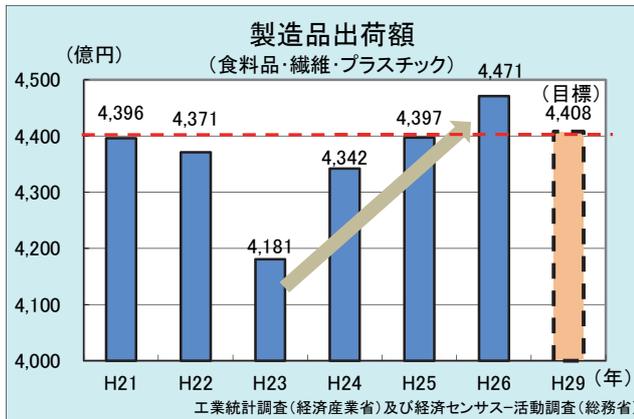
目指す姿

新しい産業を創り、また地域産業を伸ばすための産業支援を行うことにより、「起業の促進」や「しごと創生」を図り、経済を活性化させることで、奈良でくらし、奈良で働くことができ、経済が県内で好循環する社会を目指します。

これまでの成果

- ・県内企業の大勢を占め、本県経済の活性化に貢献する小規模企業の事業の成長発展または持続的な発展を促すため、奈良県小規模企業振興基本条例を制定し、平成29年4月から施行しました。
- ・御所市新地商店街、田原本町戎通りでまちづくりと連携して地元の空き店舗を活用したチャレンジショップを実施するなど、空き店舗を活用したにぎわいづくりに取り組みました。

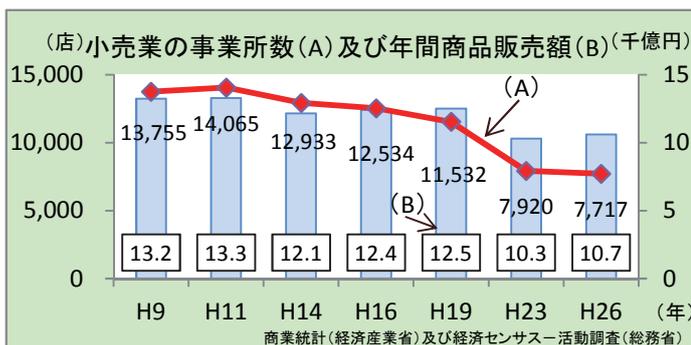
1. 政策目標達成に向けた進捗状況



| | |
|----|---|
| 目標 | 平成29年度までに、生活関連製造品出荷額を66億円アップします。(H29年度目標額:4,408億円)(H24年度:4,342億円) |
| 取組 | クラウドファンディングを活用して新たなファンの獲得を目指す中小企業に対する支援、海外販売拠点の立ち上げを目指す企業の支援を行うなど、付加価値の高い県内産業の体質強化に取り組みました。 |
| 成果 | 製造品出荷額(食料品・繊維・プラスチック)は、平成23年以降毎年増加しており、平成26年は4,471億円となり、目標の4,408億円(H29年度)を上回っています。 |

2. 戦略目標達成に向けた進捗状況

| | |
|------|---|
| 戦略目標 | ①平成27年度から平成29年度までの3年間で、企業の新商品開発を54件支援します。 ②平成27年度から平成29年度までの3年間で、企業の海外進出を114件支援します。 ③平成27年度から平成29年度までの3年間で、県から「魅力あるお店」の認定を受けた飲食店の数を12店舗増やします。 |
|------|---|



| | |
|----|--|
| 取組 | 新規開業希望者向けセミナーの開催や空き店舗を活用したチャレンジショップの実施等、消費地としての奈良の魅力向上に取り組みました。(③) |
| 成果 | 小売業の事業所数は減少していますが、大規模小売店舗が毎年新規に約10店舗出店しており、平成26年の年間商品販売額は平成23年から約350億円増加し、1兆660億円となりました。 |